

NYマーケットレポート（2014年1月9日）

昨晚のNY外国為替市場は、序盤に発表された米失業保険申請件数が市場予想を下回り、昨年11月30日の週以来の低水準となったことを受けて、雇用の改善期待が高まったことから、ドルが主要通貨に対して買われる場面もありました。しかし、債券購入のペース縮小観測から、ブラジルなど新興国の株価や通貨が下落したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、安全資産とされる円を買う動きが優勢となりました。一方、ドラギ ECB 総裁が定例会見で、景気回復の鈍化傾向や、追加金融緩和の可能性に言及したことを受けて、ユーロが主要通貨に対して下落となりました。円は大半の主要通貨に対して堅調な動きとなりました。その後、終盤には株価が下げ幅を縮小したことから、クロス円は値を戻す動きとなりました。一方、ドル/円は、週末の米雇用統計を控えて様子見ムードも強まっており、狭いレンジ内の展開が続きました。

2014/1/9 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	104.90	104.99	104.75
EUR/JPY	142.64	142.67	142.17
GBP/JPY	172.82	172.83	172.30
AUD/JPY	93.13	93.43	93.02
EUR/USD	1.3602	1.3602	1.3566

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	105.06	104.86
EUR/JPY	143.03	142.60
GBP/JPY	172.96	172.52
AUD/JPY	93.29	93.06
EUR/USD	1.3623	1.3593

*LD高安は東京クロース～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15880.33	-241.12
ハンセン指数	22787.33	-209.26
上海総合	2027.62	-16.72
韓国総合指数	1946.11	-12.85
豪ASX200	5324.41	+8.36
インドSENSEX指数	20713.37	-16.01
シンガポールST指数	3145.41	-5.24

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6691.34	-30.44
仏CAC40	4225.14	-35.82
独DAX	9425.61	-76.23
ST欧州600	328.41	-1.38
西IBEX35指数	10234.20	-19.40
伊FTSE MIB指数	19503.00	+66.70
南ア 全株指数	45444.59	-252.38

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	104.79	105.03	104.59
EUR/JPY	142.55	143.03	142.04
GBP/JPY	172.70	173.14	172.20
AUD/JPY	93.29	93.34	92.93
NZD/JPY	86.50	86.71	86.24
EUR/USD	1.3604	1.3634	1.3549
AUD/USD	0.8904	0.8905	0.8867

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16444.76	-17.98
S&P500	1838.13	+0.64
NASDAQ	4156.20	-9.42
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	136329.41	+14.78
ブラ ボルサ指数	41585.54	+70.05
メキシコ ボバスバ指数	49321.68	-1254.96

1/10 経済指標スケジュール

09:01	【英】12月BRC小売売上高
14:00	【日】11月景気先行CI指数
14:00	【日】11月景気一致CI指数
15:45	【スイス】12月失業率
16:30	【仏】12月企業センチメント指数
16:45	【仏】11月製造業生産指数
16:45	【仏】11月鉱工業生産
17:00	【スイス】12月消費者物価指数
17:30	【スウェーデン】12月財政収支
17:30	【スウェーデン】11月鉱工業生産
18:00	【ノルウェー】12月消費者物価指数
18:30	【英】11月鉱工業生産
18:30	【英】11月製造業生産高
22:30	【米】12月失業率
22:30	【米】12月非農業部門雇用者数
22:30	【カナダ】12月失業率
22:30	【カナダ】12月雇用ネット変化率
00:00	【英】12月NIESR GDP予想
00:00	【米】1月IBD/TIPP景気楽観指数
00:00	【米】11月卸売在庫
00:00	【米】11月卸売売上高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1229.40	+3.90
NY 原油	91.66	-0.67
CME コーン	412.00	-5.00
CBOT 大豆	1296.25	-4.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.43%	0.43%
3年債	0.87%	0.88%
5年債	1.74%	1.77%
7年債	2.40%	2.43%
10年債	2.96%	3.00%
30年債	3.87%	3.90%

1/10 主要会議・講演・その他予定

・セントルイス連銀総裁 講演

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

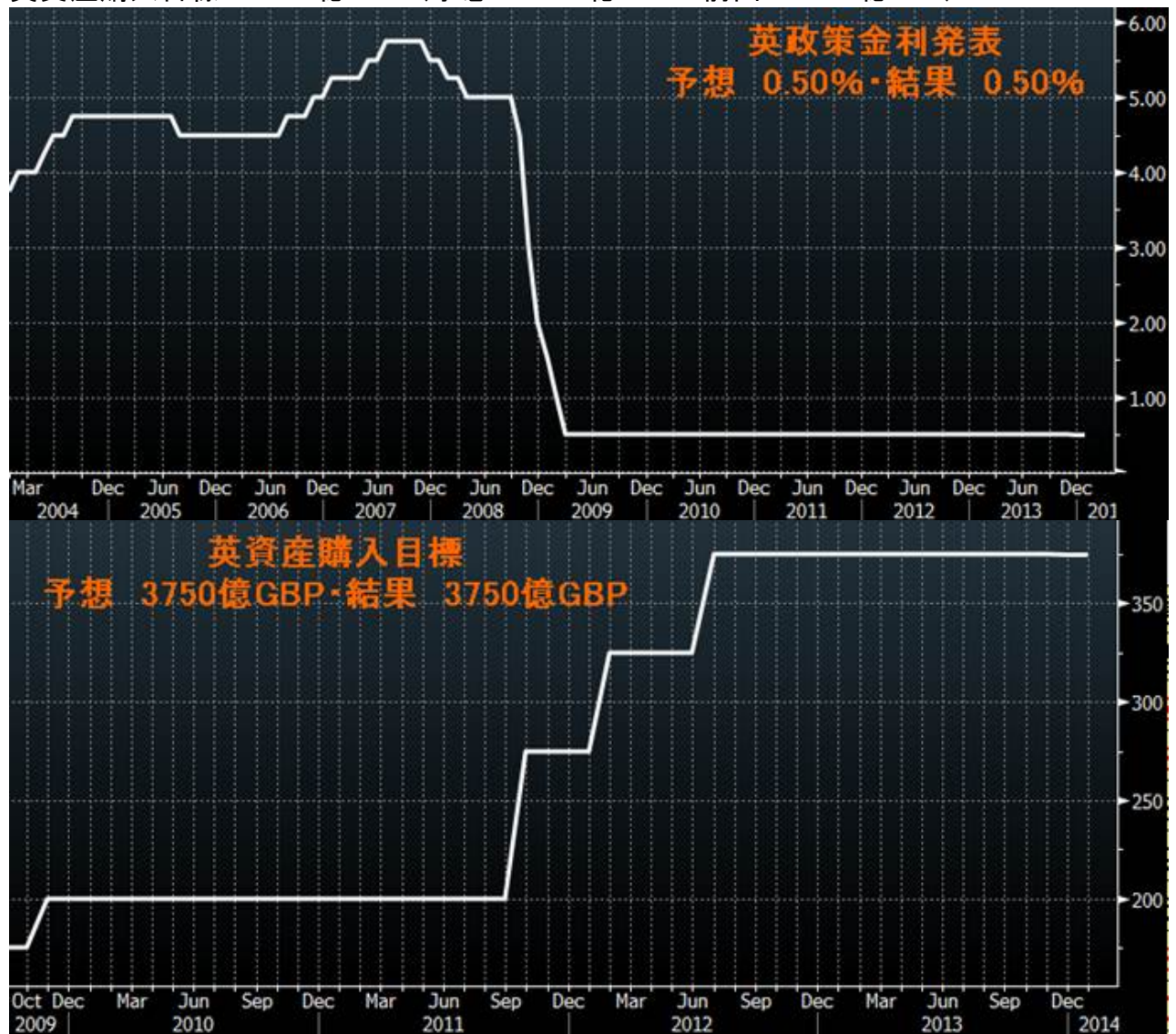
欧州市場

21 : 00

《 経済指標の結果 》

英政策金利発表 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)

英資産購入目標 3750 億 GBP (予想 3750 億 GBP・前回 3750 億 GBP)



(出所:ブルームバーグ)



21 : 30

《 経済指標の結果 》

12 月米チャレンジャー人員削減数 (前年比) -5.9% (前回 -20.6%)



指標結果データ

《チャレンジャー人員削減数》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
合計	30,623	45,314	45,730	40,289	50,462	37,701
増減	-14,691	-416	5,441	-10,173	12,761	-1,671
前年比	-5.9	-20.6	-4.2	19.1	56.5	2.3
東部	10,178	16,681	24,280	6,986	7,741	12,069
中西部	5,504	13,273	4,820	9,066	21,926	8,373
西部	9,306	8,797	6,953	16,194	12,940	8,929
南部	5,635	6,563	9,677	8,043	7,855	8,330

21 : 45

《 経済指標の結果 》

欧州政策金利発表 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)



(出所:ブルームバーグ)

22:00

ドル/円 105.03 ユーロ/円 142.93 ユーロ/ドル 1.3609

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6734.97	+13.19	ダウ INDEX FUTURE	16458	+51
仏 CAC40	4264.15	+3.19	S&P500 FUTURE	1837.30	+4.80
独 DAX	9527.40	+29.56	NASDAQ FUTURE	3572.75	+8.00

(出所:ブルームバーグ)

22:13

《 経済指標の結果 》

12月カナダ住宅着工件数 18.97万件 (予想 19.00万件・前回 19.22万件)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

《 経済指標の結果 》

新規失業保険申請件数 33.0 万件 (予想 33.5 万件・前回 34.5 万件) 前回発表の 33.9 万件から 34.5 万件に修正

失業保険継続受給者数 286.5 万人 (予想 285.0 万人・前回 281.5 万人) 前回発表の 283.3 万人から 281.5 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数・前週比・4週移動平均・受給者数・受給者比率

14/01/04	330,000	-15,000	349,000	*****	*****
13/12/28	345,000	+4,000	358,750	2,865,000	2.2%
13/12/21	341,000	-39,000	348,750	2,815,000	2.2%
13/12/14	379,000	+11,000	343,750	2,932,000	2.2%
13/12/07	369,000	+64,000	330,250	2,877,000	2.2%
13/11/30	305,000	-16,000	324,000	2,790,000	2.1%
13/11/23	321,000	-5,000	333,000	2,757,000	2.1%
13/11/16	326,000	-18,000	339,250	2,765,000	2.1%
13/11/09	344,000	+3,000	345,250	2,867,000	2.2%
13/11/02	341,000	-5,000	349,750	2,810,000	2.2%

受給者数は集計が1週間遅れる

22 : 30

《経済指標の結果》

11月カナダ住宅建設許可(前月比) -6.7% (予想 -2.7%・前回 8.0%)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

《 経済指標の結果 》

11 月カナダ新築住宅価格指数（前月比） 0.0%（予想 0.1%・前回 0.1%）

11 月カナダ新築住宅価格指数（前年比） 1.4%（前回 1.5%）



(出所:ブルームバーグ)

22 : 40

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁～定例会見

- ・「基調的な物価圧力は引き続き抑制されている」
- ・「ユーロ圏は長期的に低インフレに直面も」
- ・「必要なかぎり、金融政策は緩和的にとどまる」
- ・「金利は長期にわたって低水準にとどまると ECB は予想」

- ・「あらゆる可能な手段を検討する準備がある」
- ・「政策金利は長期にわたり現行水準かそれ以下に」
- ・「生産は 2014、15 年に鈍いペースで回復へ」
- ・「ユーロ圏の成長へのリスクは引き続き「下向き」

- ・「インフレ率は向こう数カ月、現在の水準付近にとどまる」
- ・「インフレリスクはおおむね均衡」
- ・「フォワードガイダンスの文言を ECB はこの日強めた」
- ・「インフレ見通しが悪化すれば ECB は行動する」

- ・「短期金融市場が逼迫すれば ECB は行動する」
- ・「必要ならば行動する準備があることを強調する」
- ・「ECB は可能な政策手段すべてを討議した」
- ・「政策手段をめぐる討議は続く」

- ・「どの政策手段を選ぶかは不測の事態の状況による」
- ・「将来の決定に関して憶測するのは意味がない」
- ・「条約が許す全ての手段が可能」
- ・「銀行システムは査定後に強くなる－銀行は是正行動中」
- ・「ECB は条約が許すあらゆる手段を利用する用意」
- ・「12 月インフレ率低下は予想通り」
- ・「危機が終わったとすることには慎重、リスクは多い」
- ・「危機に勝ったと宣言するには時期尚早」
- ・「信頼感は徐々に戻りつつある」
- ・「下向きのインフレリスクの可能性に留意せねばならない」
- ・「日本のようなデフレ発生を予想しない」



(出所: ネットダニアー)



23 : 00

《 経済指標の結果 》

12 月メキシコ消費者物価指数 (前月比) 0.57% (予想 0.52%・前回 0.93%)
 12 月メキシコ消費者物価指数 (前年比) 3.97% (予想 3.92%・前回 3.62%)



23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16514.63	+51.89
ナスダック	4180.70	+15.08

(出所: SBILM)

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、失業保険申請件数が市場予想を下回り、米雇用情勢の改善が続いているとの期待感から買いが先行した。しかし、高値警戒感が出ていることや、米雇用統計の発表を控えていることから、上げ幅は限定的となり、その後はやや軟調な展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

①英中銀は MPC（金融政策委員会）で、政策金利であるレポ金利を過去最低の 0.50% に据え置くことを決めた据え置きは 4 年 10 ヶ月連続となった。また、国債などの資産買い取りプログラムの規模を 3750 億ポンド（約 64 兆 8000 億円）で維持した。英国の景気は回復基調にあるが、7.4% の失業率が 7% を下回るまで、現行の金融緩和政策を維持する方針を示している。

②ECB は、ユーロ圏 18 ヶ国の金融政策を決める理事会を開き、主要政策金利を過去最低の 0.25% で据え置くことを決めた。昨年 11 月に実施した利下げの効果を引き続き見極めるべきだと判断した。また、中銀預金金利をゼロ%、限界貸出金利を 0.75% でそれぞれ据え置いた。インフレ率は、欧州中銀が目標とする 2% 弱を大幅に下回る水準が続いている。一方、政策金利は既にゼロに近く、追加利下げの余地は乏しい。欧州中銀はデフレを防ぐため、マイナス金利の導入など、新しい政策手段を検討している。

③米失業保険申請件数は、前週比-1.5 万件の 33.0 万件となり、昨年 11 月 30 日までの週以来の低い水準となった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-9750 人の 34.9 万件で、12 月 21 日までの週以来の低水準となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+5 万人の 286.5 万人と、12 月 14 日までの週以来の高水準となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比+1 万 8750 人の 287 万 2250 人で、10 月 19 日までの週以来の高水準となった。受給者比率は、前週から変わらずの 2.2 だった。

《欧州のポイント》

①独経済技術省が発表した 11 月の鉱工業生産指数は、前月比+1.9%と 3 ヶ月ぶりにプラスとなり、ドイツの景気回復が勢いを増している兆候が示された。前年同月比では +3.5%となった。この日の統計は、ドイツ経済の成長拡大を示す最近の経済指標の一連の流れと一致。11 月の製造業受注は予想を上回る伸びとなったほか、I f o 経済研究所がまとめた 12 月の企業景況感指数は 1 年 8 ヶ月ぶりの高水準に達し、GDP が向こう数カ月は力強く伸びるとの予想を裏付けている。

②EU の欧州委員会が発表した 12 月のユーロ圏景況感指数は 100 と、11 月の 98.4 を上回り、2011 年 7 月以来の高水準となった。過去最長のリセッションが残した問題の対応に迫られる政策当局者には、追い風となった。欧州委によれば、12 月の製造業景況感指数は-3.4 と、前月の-3.9 から上昇したものの、事前予想は下回った。消費者信頼感指数は-13.6（11 月-15.4）、サービス業景況感指数は+0.2（-0.9）となった。

③ギリシャのサマラス首相は、最近のギリシャ国債の値上がりとアテネ市場の株高は、ギリシャへの投資家信頼感の回復を示すと言明。危機から立ち直る兆候があるとの認識を示した。政府からは、年内に市場復帰し国債を発行する可能性が指摘され、政府は今年の経済成長率が 2007 年以来初めてプラスになると予想。

ストゥルナラス財務相は、ギリシャが今年 7-12 月に 5 年債を発行する可能性を指摘した。資金調達ニーズに関する債権者との交渉の進展次第としているが、国債発行が実現すれば、2010 年前半に市場での調達ができなくなって以来初の復帰になる。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6691.34	-30.44
仏 CAC40	4225.14	-35.82
独 DAX	9425.61	-76.23
ストック欧州 600 指数	328.41	-1.38
ユーロファースト 300 指数	1315.39	-5.80
スペイン IBEX35 指数	10234.20	-19.40
イタリア FTSE MIB 指数	19503.00	+66.70
南ア アフリカ全株指数	45444.59	-252.38

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ドラギ ECB 総裁がユーロ圏の景気回復の勢いが弱いと指摘したことが嫌気されて売りが優勢となり、主要株価は続落となった。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16416.56 (-46.18)、S&P500 1833.35 (-4.14) ナスダック 4151.20 (-14.42)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、前日の下落の反動で値頃感から買い戻しが入る半面、米失業保険申請件数が市場の予想以上に減少したことを受けた売りも出てもみ合いの展開となった。午前の利回りは、30年債が3.89%（前日3.89%）、10年債が2.98%（2.99%）、7年債が2.42%（2.43%）、5年債が1.76%（1.76%）、3年債が0.88%（0.88%）、2年債が0.43%（0.43%）。

3 : 00

《米財務省 30 年債入札》

最高落札利回り・・・3.899%（前回 3.900%）

最低応札利回り・・・3.800%（前回 3.800%）

最高利回り落札比率・・・69.13%（前回 17.28%）

応札倍率・・・2.57 倍（前回 2.35 倍）

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 3.90 ドル高の 1 オンス=1229.40 ドルで取引を終了した。

5 : 10

NY 原油は、中心限月が前日比 0.67 ドル安の 1 バレル=91.66 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1229.40	+3.90
NY 原油	91.66	-0.67

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY金は、前日までの続落で値頃感が出たとして、買い戻しが先行した。ただ、週末の米雇用統計発表を控えて様子見ムードも強く、値動きは限定的だった。



(出所:ブルームバーク)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米失業保険申請件数の減少を受けて、雇用改善に伴う量的緩和の縮小加速で商品市場への資金流入が減少するとの見方から売りが優勢となった。また、米国の原油供給過剰への懸念も圧迫材料となった。終値ベースでは、昨年5月上旬以来、約8ヵ月ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーク)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16444.76	-17.98	16525.35	16378.61
S&P500 種	1838.13	+0.64	1843.23	1830.38
ナスダック	4156.20	-9.42	4182.74	4142.70

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、失業保険申請件数が市場予想を下回り、米雇用情勢の改善が続いているとの期待感から買いが先行した。しかし、高値警戒感が出ていることや、米雇用統計の発表を控えていることから、上げ幅は限定的となった。その後は、新興国の株価下落が影響して軟調な展開が続いたものの、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、堅調な展開で始まったものの、その後は軟調な動きとなり、一時前日比 84 ドル安まで下げる動きとなった。ただ、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。



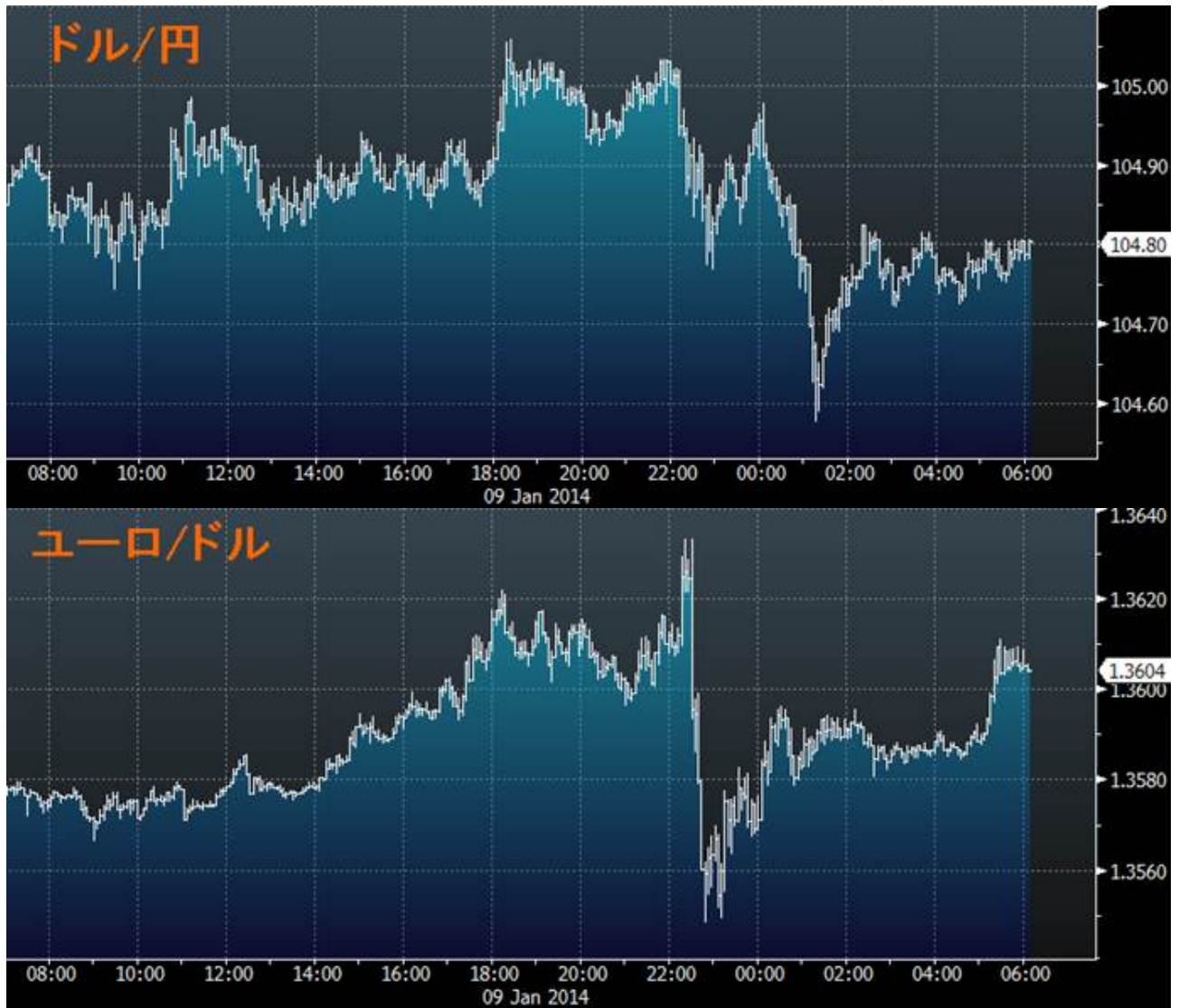
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	104.79	105.03	104.59
EUR/JPY	142.55	143.03	142.04
GBP/JPY	172.70	173.14	172.20
AUD/JPY	93.29	93.34	92.93
NZD/JPY	86.50	86.71	86.24
EUR/USD	1.3604	1.3634	1.3549
AUD/USD	0.8904	0.8905	0.8867

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の雇用統計が予想より改善したものの、ECB 総裁がハト派的発言をしたことを受けて、ユーロが主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、株価が下落したことを背景に、円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。終盤には株価が下げ幅を縮小したことから、クロス円も値を戻す動きとなった。ドル/円は、米雇用統計を控えて様子見ムードが強く、狭いレンジ内の展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。